

別記様式第8号

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業、都道府県広域捕獲活動支援事業、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業、シカ特別対策等事業、鳥獣被害防止施設整備促進支援事業、及び鳥獣被害防止対策促進支援事業の評価報告(令和6年度報告)

山口県

- 被害防止計画の作成数、特徴等
県内全ての市町(19市町)において、被害防止計画が作成されている。
このうち、萩市と阿武町が広域の被害防止計画を作成している。
- 事業効果の発現状況
本事業においては、有害捕獲、侵入防止柵の整備及び緊急捕獲活動等に取り組んでおり、一定の成果を得ている。
- 被害防止計画の目標達成状況
4の評価対象のうち、被害防止計画の被害金額の目標達成は1協議会、被害面積の目標達成は1協議会であった。
- 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価	
										被害金額			被害面積						
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率				
美祿市有害鳥獣被害防止対策協議会	美祿市	R4	イノシシ サル シカ タヌキ ノカサキ アライグマ ヌートリア ハナシシ アライグマ カラス ドバト	有害捕獲 鳥獣被害防止施設 緊急捕獲活動	サル用大型囲いわな 1基 大型箱わな 4基 侵入防止柵 28,095m イノシシ 1,073頭 シカ 1,205頭 サル 59頭 タヌキ 23頭 アライグマ 13頭 ヌートリア 24頭 カラス 5羽	美祿市有害鳥獣被害防止対策協議会	R4.8~ R5.3~ R5.3~	100%	侵入防止柵設置による農林産物の被害軽減及び捕獲効率の向上 捕獲率の整備及び捕獲圧の維持による生息数の増加抑制	21,117千円	15,608千円	334%	16.71ha	12.53ha	325%	侵入防止柵を順次整備し、被害の軽減効果は出ているが、未整備の地区に被害が集中している。捕獲数は向上しているものの、農家の減少、耕作放棄地の増加及び空家の増加により、鳥獣が出没しやすくなっており、シカについては、造林被害が減少したことにより被害額は減ったが、麦や豆類等の被害が増加したため、被害面積の軽減目標は未達成となっている。シカについては、生息域が拡大傾向にあるため、イノシシ用の侵入防止柵が設置されている地区で柵の嵩上げ等の対策を講じていく必要がある。 今後も、侵入防止柵を整備するとともに、捕獲の担い手の確保等により捕獲圧を高め、被害の軽減を図る。	美祿市では、イノシシ・シカ・サルの被害が多く、中でもイノシシとシカの被害が深刻な状況にあります。イノシシ・シカについては、侵入防止柵等の施設整備や個体数管理の効果的捕獲によって、一定の効果が出ています。被害防止計画の全体目標値は達成されていますが、鳥獣によっては被害が増えているのが見られます。この原因は、生息域が拡大してこれまでに出現しなかった地域に被害が広がるとともに、農家の対策が後手になったことが問題と考えられます。今後は、被害が新たに発生する可能性が高い地域を中心に、被害対策として、被害防除・個体数管理・生息地管理の3つを総合的に進める指導を行う必要があると考えます。 被害防除の侵入防止柵の整備と有害鳥獣捕獲については、鳥獣被害防止総合対策交付金事業により実施していますが、より効果的な成果を得るために、現状把握を行いながら農家と連携して「地域ぐるみ活動対策プラン」を作成し、集落全体での被害対策を進めていただきたい。 なお、アライグマやヌートリアの被害が増えています。アライグマやヌートリアなどの特定外来生物の被害が報告された場合は、捕獲対策を積極的に進めるようお願いいたします。	被害金額の大きいイノシシ、シカ、サルともに被害金額の目標を達成しており、侵入防止柵の整備や捕獲活動の推進が本結果に結びついたと考えられる。 一方で、県内ではヌートリアやアライグマの捕獲数が増加しており、被害の拡大が懸念されています。美祿市においても両獣種による被害額の増加が確認されているため、引き続き、捕獲の強化を進めていただきたい。	被害金額の大きいイノシシ、シカ、サルともに被害金額の目標を達成しており、侵入防止柵の整備や捕獲活動の推進が本結果に結びついたと考えられる。
		R5		有害捕獲 ICT等新技術の活用 鳥獣被害防止施設 緊急捕獲活動	シカ用大型囲いわな 1基 大型箱わな 4基 小型箱わな 23基 自動捕獲システムセンサーカメラ 1基 侵入防止柵 20,978m イノシシ 827頭 シカ 1,467頭 サル 66頭 タヌキ 39頭 アライグマ 33頭 ヌートリア 1頭 カラス 1羽	美祿市有害鳥獣被害防止対策協議会	R6.3~ R6.3~ R6.2~ R6.3~ R6.3~	100%	侵入防止柵設置による農林産物の被害軽減及び捕獲効率の向上 捕獲率の整備及び捕獲圧の維持による生息数の増加抑制										
		R6		有害捕獲 鳥獣被害防止施設 緊急捕獲活動 シカ緊急捕獲	サル用大型囲いわな 1基 侵入防止柵 11,082m イノシシ 833頭 サル 72頭 タヌキ 62頭 アライグマ 29頭 ヌートリア 13頭 シカ 1,629頭	美祿市有害鳥獣被害防止対策協議会	R7.3~ R7.3~	100%	侵入防止柵設置による農林産物の被害軽減及び捕獲効率の向上 捕獲率の整備及び捕獲圧の維持による生息数の増加抑制										
山口県	-	R6	-	新技術実証・普及活動 人材育成活動 広域捕獲活動	実証2課題 外部アドバイザーの地域派遣 シカ 1,347頭	-	-	-	効率的かつ効果的な防護、捕獲技術の開発及び実証 地域における鳥獣被害対策の推進 個体数調整による農林業被害の抑制	-	-	-	-	-	-	実証成果について、市町や関係団体等に情報提供するとともに、現地適用が可能な技術について普及を図る。 また、シカによる農林業被害を防止するため、引き続き、広域捕獲活動によるシカの個体数管理を進める。	【広域捕獲活動】 シカの個体数調整については、昨年度を超える頭数を捕獲しているにもかかわらず、推定生息頭数が増加しており、更なる捕獲強化が必要である。	-	

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
 2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。
 3:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
 4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
 5:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。

5 都道府県による総合的評価

山口県全体の被害額は、平成22年度の8億円から減少傾向にあり、令和6年度は3.5億円まで減少した。今後も引き続き農林業被害を軽減するため、各種事業を活用しながら、地域住民主体の「捕獲」、「防護」、「生息地管理」による総合的な被害防止対策を推進し、地域ぐるみで取り組む被害防止活動を全県展開する。